

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとり県民カレッジ事業	10,906	10,901	5			(諸収入) 915	9,991	
トータルコスト	24,622千円（前年度24,986千円）〔正職員：1.7人、非常勤職員：1人〕							
主な業務内容	主催講座の企画・実施、入学者の募集・管理、連携機関との調整等							
工程表の政策目標（指標）	とっとりマスター認定者数：10人							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県民を生涯学習へいざなうため、そのきっかけづくりとして、総合的・体系的な学習機会や場の確保を行なう。								
2 主な事業内容								
区分	事業費	事業内容						
講座開催費	5,556	○主催講座「未来をひらく鳥取学」の開催 ・座学講座 東・中・西部で各300名募集 計10講座 ・専門講座 東・中・西部ごとにテーマ設定し、3講座程度開催 ○放送利用コースとして、テレビ・ビデオ・インターネットを利用して収録した講座等を視聴できるよう、在宅学習を支援。 ○他講座との連携 ・他機関、団体が実施する学習講座を連携講座として認定。						
入学者管理費	5,058	○学習奨励 ・単位取得に応じて「奨励賞」、「とっとりマナビスト」、「とっとりマスター」の称号等を授与し、学習意欲の向上を促進。 ○とっとり県民カレッジ「学友会」への支援 ・自主的に学習を深める有志の学友会の活動への支援。						
企画運営費	292	○運営委員会の開催 ・とっとり県民カレッジの企画運営について検討する。 委員数8名 年3回開催						
3 これまでの取組状況、改善点								
【指標】とっとりマスター認定者数：10人 →【現在】4人								
学んだ知識を地域に還元するため、とっとりマスターを10人育成する予定。（現在4名）								
出席率の向上を図ること及び市町村等の講座との重複を避けるため、H21年度から座学講座の回数を短縮し、短期集中にした結果、出席率が70%にアップした。（前年58%）								
また、平成21年度は、受講者の幅広いニーズに応えるため専門講座を新設した。								
県民の学習意欲を満たすことができるような魅力ある講座テーマの設定や講師の選定に今後とも努める。								